



医師

## カテーテルアブレーション

皆さんの多くは「不整脈治療」と聞くと薬物による治療を思い浮かべるかもしれませんが。一口に不整脈といっても「心房細動」「心房粗動」「発作性上室性頻拍」「心室頻拍」などなど多種多様に分かれています。(ここに挙げたものは代表的な不整脈で、他にもまだまだあります)

多くの場合、治療は薬物中心の治療となります。しかし、薬物ではどうしてもコントロールできない場合もあります。こんなときに非薬物的治療の代表が「カテーテルアブレーション」です。

では、「カテーテルアブレーション」とはどんな治療なのでしょう？

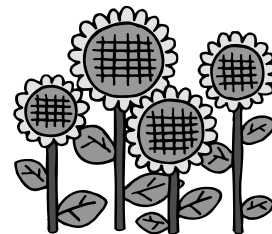
まず初めに、太腿の付け根と首の右側から「電極」を挿入します。普段、心電図検査を行う時に体の表面に付けている「電極」と同じ働きをするものを心臓の中に入れ、薬物や機械での刺激により不整脈を「わざと起こさせる」のです。これにより、心臓の中でどのような電気の流れで不整脈を起こしているのかを調べます。この検査を「電気生理検査」といいます。多くの不整脈の場合、元来ある電気回路とは違う「余分な電気回路」が原因となっていることがあり、これを電気生理検査で同定すると「カテーテルアブレーション」の登場です。アブレーション用カテーテルは、電子レンジと同じような原理で先端が60℃ほどの熱を持つこ

とにより、「余分な電気回路」を「焼き切ってしまう」のです。成功率は高く、不整脈の種類にもよりますが「1回」でのアブレーションによる成功率は約90%といわれています。「余分な電気回路」が複数あったり、焼き切ってしまうても「余分な電気回路」が復活してくる場合があり、このような場合はアブレーションの回数は1回では済まず、複数回に及ぶこともあります。

心臓内で熱を出すと熱く感じる方もいらっしゃると思います。また、治療時間が長時間におよぶ事があるので、あらかじめ尿バルーンを挿入したり、薬で眠っていただくこともあります。

治療時間、入院期間は不整脈の種類や「余分な電気回路」の場所によって変わるので、申し訳ないのですが、なかなか紙面上でお示しできないのです。

この度、不整脈の種類によっては当院でもカテーテルアブレーションを行うことができるようになります。もし、アブレーション希望、お尋ねになりたいことがあればいつでも循環器科医師にご相談ください。



★「フィリア・レター」は、中部労災病院が、患者さまに向けて当院の現況や新しい医療情報などを発信したり、患者さまの建設的な意見を反映する広場として発行しています。